

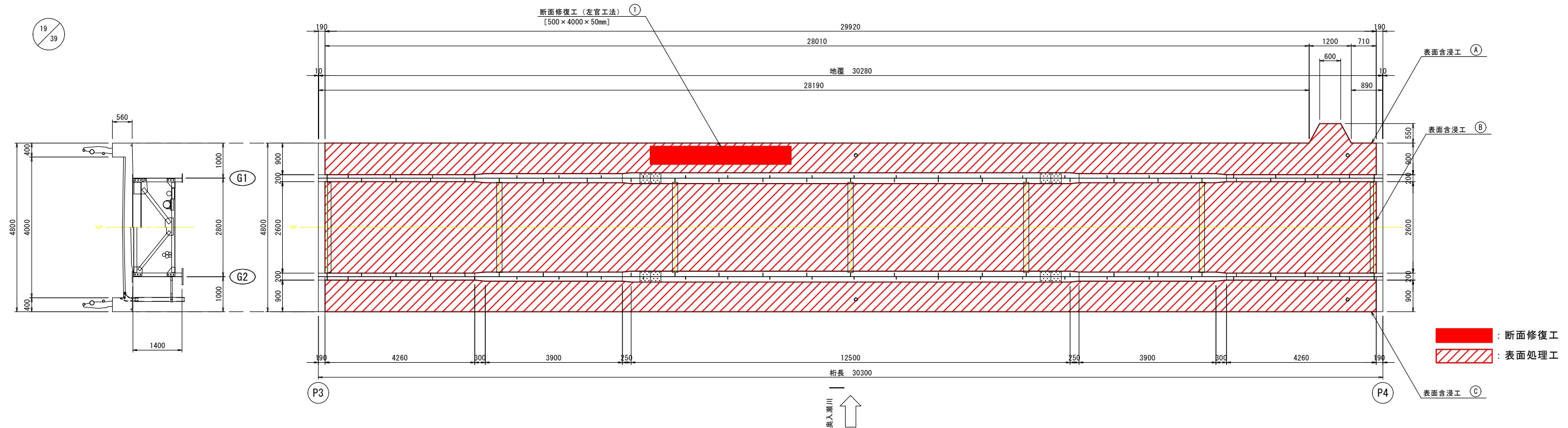
令和 8 年度 神明橋換梁補修工事		
工事番号	第 8 号	
路線 名 河川	阿光坊線	
施工箇所	おいらせ町阿光坊地内	
床版補修工図 (その4)	縮尺	図示
図面番号	業中	
おいらせ町		
青 森 県		

神明橋 床版補修工図（その4）

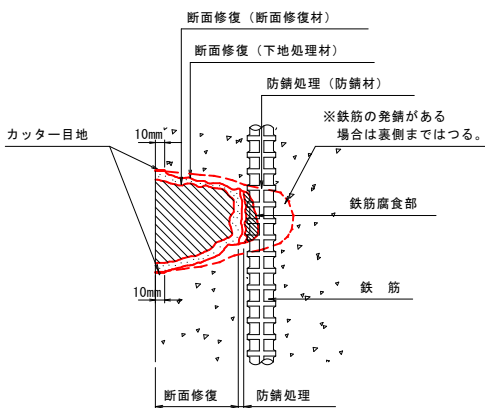
第4徑間 桁下面

平面图

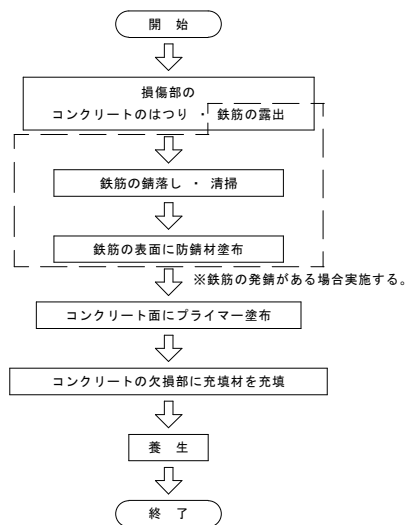
S=1:60



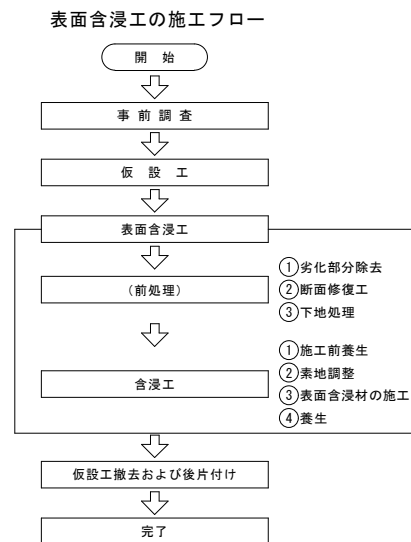
断面修復工〔左官工法〕



断面修復の施工フロー

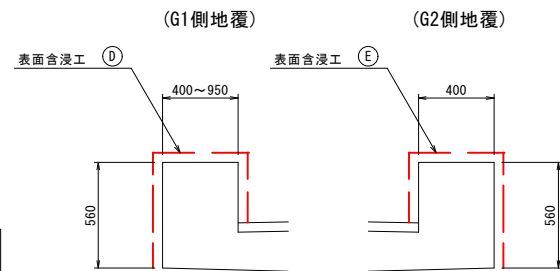


表面含浸工



地覆断面図

S=1:20



断面修復工 数量表

(ポリマーセメントモルタル)

工 法	箇 所	寸 法	数 量
左官工法	床版	① 0.500 × 4.000 × 0.050 =	0.100 m ³
		合計 =	0.10 m ³

表面处理工 数量表

工 法	箇 所	寸 法	数 量
表面含浸工	床版	(A) $(0.600+1.200) \times 0.550 / 2$	= 0.495 m ²
		$0.900 \times 4.260 \times 2$	= 7.668 m ²
		$((0.900+0.870) \times 0.300 / 2) \times 2$	= 0.531 m ²
		$0.870 \times 3.900 \times 2$	= 6.786 m ²
		$((0.870+0.845) \times 0.250 / 2) \times 2$	= 0.429 m ²
		0.845×12.500	= 10.563 m ²
		(B) $2.600 \times 4.260 \times 2$	= 22.152 m ²
		$((2.600+2.540) \times 0.300 / 2) \times 2$	= 1.542 m ²
		$2.540 \times 3.900 \times 2$	= 19.812 m ²
		$((2.540+2.490) \times 0.250 / 2) \times 2$	= 1.258 m ²
		2.490×12.500	= 31.125 m ²
		(C) $0.900 \times 4.260 \times 2$	= 7.668 m ²
		$((0.900+0.870) \times 0.300 / 2) \times 2$	= 0.531 m ²
		$0.870 \times 3.900 \times 2$	= 6.786 m ²
		$((0.870+0.845) \times 0.250 / 2) \times 2$	= 0.429 m ²
		0.845×12.500	= 10.563 m ²
	地覆	(D) $(0.320+0.400) \times 30.280$	= 21.802 m ²
		$(0.600+1.200) \times 0.550 / 2$	= 0.495 m ²
		$0.560 \times (0.890+0.626+0.600+0.626+28.190)$	= 17.322 m ²
		(E) $(0.320+0.400+0.560) \times 30.280$	= 38.758 m ²
		合 計	= 206.7 m ²

注記

1. 本図面は、既存資料および現地調査をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. コンクリートの脆弱部は確実にはつり落し、補修を行うこと。
 かつりは最低50mm以上は行うこと。